



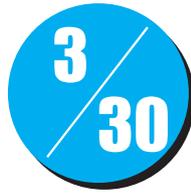
修了生の鈴木さん(左)、佐々木さんと研修中に制作した作品

安代漆工技術研究センターの修了証書授与式は3月30日、安代総合支所で行われました。21年度で修了する研修生は、鈴木慎也さん(福島県いわき市出身)、佐々木知仁勇さん(盛岡市出身)の2人。漆塗りの修了証書を手渡した田村正彦市長は「2年間の研修は、大変なことが多かったことと思えます。ここで磨いた技術を

生かして、漆器の良さを県内外に広めてほしいと思います。頑張ってください」と菓立つ2人を激励しました。2年間の研修を修了した鈴木さんは「あつという間の2年間だった。基本が一番難しかった」と、佐々木さんは「思い通りにできず、もどかしい思いをしたこともあるが、充実した毎日だった」と晴れやかな表情で振り返りました。

2人とも実家に戻り、今後も漆塗り職人としての活動を続けます。

## 伝統の漆塗りを継承する2人が研修期間を修了



NPO法人風景の生命を守る地域づくりネットワーク(田村麗丘理事長)が主催する未知の国遺産連続公開講座「舟橋への熱いまなざし―真澄は松川を訪れた?」は3月27日、澤口酒店コミュニティスペースで行われました。奥州市立えさし郷土文化館長・相原康二氏を講師に、江戸時代の紀行家・菅江真澄の日記から、岩手県内を旅した記録について学びました。菅江真澄が大更地域松川地内を訪れた資料はありませんが、それを想像させる絵などが紹介され、参加者は当時に思いをはせていました。

## 日記の挿絵からたどる紀行家菅江真澄の足跡

大更学童保育クラブの開所式は3月31日、同クラブで行われました。同クラブに通う児童や関係者などによるテープカットに続いて行われた開所式で田村正彦市長は「皆さんが、待ちに待った学童保育クラブが開所しました。学校が終わった後は、ここで勉強や遊びなど元気に頑張ってください」とあいさつしました。



菅江真澄の日記からその足跡をたどりました

## 大更学童保育クラブが改築移転してスタート

旧西根町就業改善センターを改築して開所した同クラブには、学童保育クラブのほかに、たからっ子広場が併設され、子育てに関する相談などにも応じています。



テープカットで開所を祝う参加者



田頭小学校入学式 (4月7日、田頭小学校)



柏台小学校入学式 (4月7日、柏台小学校)



東大更小学校入学式 (4月7日、東大更小学校)

すなっぶギャラリー